

2022年11月6日

## 主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒89番（旧179番）

『われらの主なる』

聖書⇒ルカによる福音書19:1~10節（MM姉）

『イエスはエリコに入り、町を通っておられた。そこにザアカイという人がいた。この人は徴税人の頭で、金持ちであった。イエスがどんな人か見ようとしたが、背が低かったので、群衆に遮られて見るができなかった。それで、イエスを見るために、走って先回りし、いちじく桑の木に登った。そこを通り過ぎようとしておられたからである。イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。これを見た人たちは皆つぶやいた。「あの人は罪深い男のところに行って宿をとった。」しかし、ザアカイは立ち上がって、主に言った。「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」イエスは言われた。「今日、救いがこの家を訪れた。この人もアブラハムの子なのだから。人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。』

礼拝讃美歌⇒7番（旧3番）

『御神は尋ねぬ』

聖書⇒ヘブライ人への手紙7:1~3節（ES姉）

『このメルキゼデクはサレムの王であり、いと高き神の祭司でしたが、王たちを滅ぼして戻って来たアブラハムを出迎え、そして祝福しました。アブラハムは、メルキゼデクにすべてのものの十分の一を分け与えました。メルキゼデクという名の意味は、まず「義の王」、次に「サレムの王」、つまり「平和の王」です。彼には父もなく、母もなく、系図もなく、また、生涯の初めもなく、命の終わりもなく、神の子に似た者であって、永遠に祭司です。』

聖書⇒ヘブライ人への手紙4:14~16節

『さて、わたしたちには、もろもろの天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスが与えられているのですから、わたしたちの公に言い表している信仰をしっかりと保とうではありませんか。この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。』

（祈）

礼拝讃美歌⇒176 番 (旧 47 番)

『主イエスよわがため』

《パン裂き》

聖書⇒マラキ書 3:20a 節 (NH 兄)

『しかし、わが名を畏れ敬うあなたたちには／義の太陽が昇る。』

聖書⇒マタイによる福音書 17:1~2 節

『六日の後、イエスは、ペトロ、それにヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。イエスの姿が彼らの目の前で変わり、顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。』

聖書⇒ヨエル書 34 節

『主の日、大いなる恐るべき日が来る前に／太陽は闇に、月は血に変わる。』

聖書⇒ルカによる福音書 23:44~45 節

『既に昼の十二時ごろであった。全地は暗くなり、それが三時まで続いた。太陽は光を失っていた。神殿の垂れ幕が真ん中から裂けた。』

聖書⇒ヨハネの黙示録 22:5 節

『もはや、夜はなく、ともし火の光も太陽の光も要らない。神である主が僕たちを照らし、彼らは世々限りなく統治するからである。』

(式)

礼拝讃美歌⇒142 番 (旧 58 番)

『主イエスの御名こそ』

《建徳》

聖書⇒詩編 119:129~136 節 (NH 兄)

『あなたの定めは驚くべきものです。わたしの魂はそれを守ります。

御言葉が開かれると光が射し出で／無知な者にも理解を与えます。

わたしは口を大きく開き、渴望しています。あなたの戒めを慕い求めます。

御顔をわたしに向け、憐れんでください／御名を愛する者への裁きに従って。

仰せのとおり／わたしの足どりを確かなものにしてください。どのような悪もわたしを支配しませんように。

虐げる者からわたしを解き放ってください。わたしはあなたの命令を守ります。

御顔の光をあなたの僕の上に輝かせてください。あなたの掟を教えてください。  
わたしの目は川のように涙を流しています。人々があなたの律法を守らないからです。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 10:17 節 (ES 姉)

『実に、信仰は聞くことにより、しかも、キリストの言葉を聞くことによって始まるのです。』

礼拝讃美歌⇒376 番 (旧 277 番)

『神の子らよみことばこそ』

《建徳要旨》